

事例 23 木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）への対応（東北森林管理局）



- ・山形県置賜郡(おきたまぐん)小国町(おぐにまち)
- ・素材（丸太）販売の素材（丸太）の積込み

令和3年当初、東北森林管理局管内においても、輸入木材の不足により国産材への代替需要が増したことから、原木の引合

いは強く価格も高い水準で推移しました。これを受け、同局では、素材生産請負事業の早期発注に取り組むとともに、山土場におかれる時間ができるだけ短くなるよう素材（丸太）の引き渡し検査の頻度を高め、生産された素材（丸太）の早期供給を行いました。また、立木販売については、木材需要の減少により令和2年7月から販売を延期していた公売を令和3年5月から再開し、令和3年度の立木販売量は前年度比約5割増加しました。

早期供給の取組については、同局の国有林材供給調整検討委員会において木材不足への的確な対応として高評価を得られたほか、「国産材への需要が多い中で、来年度も素材（丸太）の早期販売に取り組んでほしい」との意見もいただきました。